

令和7年度 調布市立第三中学校 学校経営計画（学校長 児山 友美）

学校の教育目標	
1 自ら学び考え、向上しようとする人（重点目標） 2 自他を思いやる、心豊かな人 3 心身を鍛え、たくましく生きる人	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
<目指す学校像> 1 学ぶ楽しさを実感し、将来の自己実現に向けて互いに高め合える学校 2 生徒一人一人の個性を尊重し、高い人権感覚をもち、自他ともに大切にできる学校 3 保護者・地域とともに子どもを育て、困難や障害を克服する力を育める学校	
ビジョンの設定理由 （本校の現状と課題）	予測困難で、不安定な国際状況に生きることになる生徒たちに、自ら考え、情報を精選し、判断し困難を乗り越える 力が必要な時代であるため。そのために、以下の力を育てていく。 1 社会の変化に主体的に対応でき、自らのキャリアを構築できる力の育成 2 命の大切さを知り、人権尊重の理念のもと、多様性を認め合う人間関係形成力の育成 3 失敗や困難を乗り越え、社会を生き抜く力の育成
中期的な経営目標	
① 全教育活動を通して自他の生命や人格を尊重し、違いを受け入れ、多様な人々と協働できる人権意識を身に付けた人間性豊かな生徒の育 成を図るとともに、計画的な学級経営の中で、いじめや不登校を生まない集団作りを目指す。 ② 基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、学習環境の整備やＩＣＴの有効的な活用により生徒が自ら学ぶ力の育成に向けて、「主 体的・対話的で深い学び」の実現を図る。 ③ 保健体育の授業や保健指導、学校行事等を通して、食に関する意識や体力の向上、心身の健康に対する意識啓発を図る。 ④ 自立・自律できる健全な生徒の育成を目指すとともに、話し合い活動を重視し、学級活動や教科との連携や生徒会活動との連携を図り、 自分の考えを表現できる主体的な生徒を育成する。 ⑤ 教育相談委員会を中心として教育相談の充実を図り、一人一人の生徒に寄り添う指導や、個に応じた適切な支援の実施など、組織的な対 応を推進する。 ⑥ 教育活動全体を通じて、自己実現に向けて主体的に進路を切り開く力を育てるとともに、向上心をもち、粘り強く努力し、困難を乗り越 える強い意志を育てることを重視したキャリア教育を行う。 人・組 教職員間の連携を密にし、ＯＪＴを活用した人材育成と組織的な指導体制を確立する。	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
① 豊かな心(徳)	② 確かな学力(知)	③ 健やかな体(体)
(1) 取組目標（具体的方策）	(1) 取組目標（具体的方策）	(1) 取組目標（具体的方策）
① 二者及び三者面談およびＳＣとの 1 年生全 員面談の実施。毎月の心のアンケートの実 施。いのちの授業の実施。	①協働的な学びを充実させた「主体的・対話的で 深い学び」の実現。年3回の授業研究の実施。	①達成感や充実感のある学校行事（運動会や合 唱コンクールなど）の実施や部活動による体 力の向上。
②Ｑ－Ｕを活用したいじめや不登校を生まない 集団作りに向けた学級経営。	②ＩＣＴ機器を活用した工夫した授業の実施。	②安全意識や危機回避への意識向上に向けた訓 練や研修等の計画的な実施。
(2) 成果目標（数値目標）	(2) 成果目標（数値目標）	(2) 成果目標（数値目標）
①学校評価アンケートの関連項目において肯定 的評価90%以上。	①授業アンケートの関連項目において肯定的評 価85%以上。	①学校評価アンケートの関連項目において肯定 的評価90%以上。
②学校評価アンケートの関連項目において肯定 的評価90%以上。	②授業アンケートの関連項目において肯定的評 価70%以上。	②学校評価アンケートの関連項目において肯定 的評価80%以上。
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
④ 特別活動の充実	⑤ 組織的な教育相談	⑥ キャリア教育の推進
(1) 取組目標（具体的方策）	(1) 取組目標（具体的方策）	(1) 取組目標（具体的方策）
① 生徒会朝礼や部活動オリエンテーションな どの生徒の自主的な活動の実施。	② 特別支援教育及び教育相談に関する研修の 実施による発達支持的生徒指導の充実。	①エナジードを活用し3年間を見通したキャリ ア教育の実施。
②自分の考えの構築や探究心の育成に向けた朝 読書の実施。	②教育相談的な指導の組織的な対応の推進。定 期的な校内委員会の実施。	②体験的な活動を重視するとともに、小中連携 を踏まえたキャリアパスポートの活用。
(2) 成果目標（数値目標）	(2) 成果目標（数値目標）	(2) 成果目標（数値目標）
①学校評価アンケートの関連項目において肯定 的回答80%以上。	①学校評価アンケートの関連項目において肯定 的評価80%以上。	①学校評価アンケートの関連項目において肯定 的評価80%以上。
②学校評価アンケートの関連項目において肯定 的回答70%以上。	②学校評価アンケートの関連項目において肯定 的評価80%以上。	②学校評価アンケートの関連項目において、肯 定的評価70%以上。

人材育成・組織運営
・教職員がそれぞれの立場で互いに高め合う校内 OJT の実施を通して、組織的な学校運営の推進を図る。 ・朝の主任会や運営委員会を通して主体的に学校運営の意識を育て、将来の管理職を育成する。 ・学校全体で組織的な教育相談体制を構築し、生徒理解についてリーダーとなる教員を育成する。